

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4、10	運営推進会議の開催方法について利用者や家族が更に参加できる工夫が必要であり、意見、要望の反映出来る取り組みが必要。平成22年度はご家族都合の欠席により、家族が不在な会議もあった。	ご家族、ご利用者の会議への毎回出席を行い、意見、要望の反映させる。	会議にご家族が欠席される場合は代理者の出席を依頼、又は他の家族の出席を調整することで、毎回出席を行う。ご利用者については出席者を固定せず、心身の状況を考慮し柔軟に出席者を決める。会議上でご利用者、ご家族の意見、要望を反映した取り組み結果の報告を行う。	12ヶ月
2	33	看取りについて、入所時に本人・家族への説明及び文書の内容が誤解を受けるように思われる。利用者、家族の要望、グループホームの求められる課題としても終末期のあり方の検討をはかることが必要。	看取り、終末期のあり方の説明についてのマニュアルを作成し、サービス内容に誤解が生じない様にする。	入所時に「重度化した場合における対応に関する指針」の説明を行うが、実情として看取りまでのサービスは実施できない。その点を明確に説明するためのマニュアルを作成する。また、見学や申込時にもその点を触れて誤解の生じない様に取り組む。	12ヶ月
3	35	災害時の地域との協力体制がまだ構築できておらず、今回のような大地震等に対応するために、種々な角度から地域との協力体制を築くこと。	災害時の地域との協力体制を構築する。	近隣の住民や交番、消防団と災害時の対応について協力をもとめていく。又、ハピネスが近隣へどの様な協力ができるのかのリスト作成を行う。	12ヶ月
					ヶ月
					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。